

7月9日(月)

信 頼 ， そ し て 信 仰

聖書朗読 イザヤ 55:6～13

「信じます。不信仰な私をお助けください。」

マルコ 9:24

あなたは今までに、愛しいつくしんでいる誰かのために神様に祈ったことはありませんか？ たとえば娘のために幸せや健康を祈るとかです。数か月間集中して祈っていると、祈り始めた時にもっていた確固たる気持ちがうすれてきたりします。そんなとき私たちはこう言います。「もっと信仰をもたなければ！」

信仰は神からの賜物です(エペソ 2:8,9)。私たちの信仰は、私たちが救い主イエスを信頼することによって、日々新しくされるのです。神様に頼んであなたの信仰を新しくしてもらうことを忘れてはいけません。そうすればあなたは、痛みや孤独の中にいる愛する人のために、祈り続けることができます。

そしていつか、その愛する人のための祈りに神様がどのように応えられたかわかる時がきます。熱心に祈っている時には想像することができない方法で神様は導かれ与えられるからです。

私たちの人生で何かが起こるずっと前に、何が起こるかについて神様は知っていらっしゃいます。しかし、私たちがそれについてはっきりと知ることができるのは、時間がたってからです。私たちが苦しむとき、それが私たちを神様へ近づけ、それにより私たちは神様のみこころを求めて確信をもって祈ることができるのです。

後ろを振り返って神様の御手をみなさい。信仰を新しくするために祈りなさい。そうすればあなたは神様のみわざを見るでしょう。

聖 歌 452

祈 り 天国のお父様。私はあなたのみこころと時間の中に信頼を置きます。私の心からの祈りに応え、みことばをそして助けをくださることに感謝いたします。

イエス様の御名において。アーメン。

W・スコット・ウッドリー
テネシー州 キングストン

今日の力

2012年7月9日～7月15日

翻訳 海 澤 弘 美

編集 岩 田 欣 三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

7月10日(火)

ダニエルの信望

聖書朗読 ダニエル 5:10～31

あなたの王国には、聖なる神の霊の宿るひとりの人がいます。 ダニエル 5:11

ベルシャツアル王は大宴会を催しました。王は召使たちに命じて、父王ネブカデネザルがエルサレムの宮からとってきた金、銀の器を持ってこさせました。その器で酒を飲み、客人たちに器を自慢したかったからです。

王と客人たちがその器でぶどう酒を飲み、宴会を楽しんでいると、突然、人間の手の指が現われ、宮殿の塗り壁に何かを書きました。それを見た王はおびえ、顔色を変え震え出しました。王は占い師たちを呼び、この文字を読み解き明かすことのできる者には権力を授けようといいましたが、だれもできませんでした。

そのとき王母が宴会の広間に入ってきました。彼女は王にダニエルについて話しました。ダニエルは前王ネブカデネザルの時代、夢を解き明かし、なぞを説明し、難題を解決したのです。その知恵により、前王によって占い師たちの長とされていました。

ベルシャツアル王はダニエルを召し出しました。壁に書かれた言葉は、王にとって良い知らせではありませんでしたが、ダニエルは恐れることなくすべての意味を王の前で解き明かしました。ダニエルの知恵が神によって与えられているものであることに何の疑いもありません。彼への信望は、その行為の結果です。私たちの人生にも同じことがいえます。私たちがキリストを反映するように振る舞えば、結果として人々に信望されます。そして、私たちにとって信望されるということは、非常に大切なことなのです。

讃美歌 12

祈り 親愛なる主よ。私たちは厚い信望を得ようと熱望します。あなたからそしてこの世から。厚い信望とあなたの好意とを得られるような人生をおくれるように、私を導いてください。

イエス様の御名において。アーメン。

スー・ザム

カリフォルニア州 アンテロープ

7月11日(水)

真の悔い改め

聖書朗読 ヨナ 3:1～10

そこで、ニネベの人々は神を信じ、断食を呼びかけ、身分の高い者から低い者まで荒布を着た。・・・おのおの惡の道と、暴虐な行いから立ち帰れ。

ヨナ 3:5,8

不信者の町ニネベの話は、悔い改めるということがどのように報われるかを表わす良い例です。皮肉にも、ヨナは神のみこころには不本意な使者として登場します。ヨナは、自分の宗教心を試されました。彼は水夫たちにこう言いました。『私は海と陸を造られた天の神、主を恐れています。』(ヨナ 1:9)。しかし、ヨナは自分の信仰にそって行動しません。彼は魚の腹の中で、良い祈りを捧げました。しかし、いやいやながらニネベに行きました。彼が期待していたのは、自分の仲間イスラエル人に対し非道な行いをしてきたニネベの町が焼かれるのを見て楽しむことでした。ヨナはニネベの町で「滅ぼされるぞ」と叫び続けましたが、彼がしたのはそれだけでした。

それとは対照的に、ニネベの権力者たちは、信仰と行動の両方をもって悔恨の情を示しました。町の人々は神様を信じ悪行を悔い改めました。それは本当の後悔でした。私たちは他人に何か悪いことをすれば、その後で和解しようとします。ある少年がこう表現しました。「自分が悪かったと思うことを祈ったら、それは『主の祈り』の文句のようになった」と。その少年はこう祈ったのです。「僕たちは、僕たちのくず入れにごみを入れる人々を赦しますので、僕たちのくず入れについても赦してください。」

「生き方」について語るとき、

私たちは自分たちの犯す過ちを無視して語ることはできない。

私たちの「生き方」とは、まさに私たちの行いが語るからである。

讃美歌 452

祈り 神様。私たちが他人に犯した悪事を後悔し、それを信仰と行動との両方で示すことができるように、あなたの恵みと謙遜をください。

イエス様の御名を通して。アーメン。

デイブ・ブランド

テネシー州 メンフィス

7月12日(木)

予 測 さ れ る 困 難

聖書朗読 マタイ 5:1～12

しかし、キリスト者として苦しみを受けるのなら、恥じることはありません。かえって、この名のゆえに神をあがめなさい。 I ペテロ 4:16

トミー・ラソーダは球団ドジャーズの前マネージャーでした。彼の経営哲学は彼自身の子ども時代から発生したものです。トミーは父サバティエーノの思い出を特に強調しています。少年トミーがお父さんと水筒をもって庭に行ったときのことで。お父さんはトミーに水筒の水を補充するように言いました。トミーが水筒をとりあげようとしたとき、お父さんがトミーに軽く平手打ちをしました。「パパ、どうしてぼくを打ったの？」とトミーがたずねると、父親は、「おまえが水筒を落とした後でおまえを打っても何にもならないからね」と父親に言い返されました。その経験から学んだことを、トミーは後に自分の野球プレイヤーの指導に活かしています。「私が今プレイヤーたちに力説していることは、困難を先に予測して動くということです」。

山上の教えの中で、イエス様は弟子たちに困難な時への備えをさせました。人々はあなたを迫害するかもしれません。もしそうされても、あなたの人生は神様によって祝福されているのです。神様はいつも痛みや問題や苦しみを取り除いてくださるわけではありません。神様はあなたに、困難に対処するための能力をくださるのです。あなたが神様を信頼するなら、神様はあなたの味方です！ 主のおきては私たちのしあわせのためにあります（申命記 6:24）。神様は正しく歩く者たちに、良いものを拒まれませんか（詩篇 84:11）。

あなたの恐れを風に与えよ

希望を持て、そして失望してはいけない

神があなたのため息をささえ、あなたの涙をかぞえ

神があなたの頭を上げてくれよう

—— パウル・ゲルハルト

聖 歌 309

祈 り 親愛なるお父様。私たちを困難な日々のために準備させ、そして困難を通し、あなたと他人とに仕えることのできる、より良いクリスチャンにしてくだることに感謝します。

イエス様の御名において。アーメン。

バーリー・ポイナー

ミズーリ州 カークスビル

7月13日(金)

新 し い 教 え

聖書朗読 マタイ 11:25～30

「わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。」

ヨハネ 10:10

今日の聖書朗読箇所は、時代をこえて大きな安心感を私たちに与えてくれます。この箇所は人々に記憶され、音楽につかわれ、歌にも歌われています。

この箇所のイエス様の言葉には二重の意味があります。一つは、貧しく虐げられた者へのいたわり。イエス様は弱者をご自分のもとへ招いておられます。もう一つは、古い律法のくびきからの解放。イエス様は大衆に、ガリラヤの山の上で話されたように、新しい教えを示されました。もう安息日の厳しい律法や、いけにえのような古い儀式や規制にしばられることはないのです。イエス様のくびき（＝教え）は負いやすく、その荷は軽いのです。

山上の説教の終わりに、群衆は興奮して叫びました。『というのは、イエスが、律法学者たちのようにではなく、権威ある者のようにおしえられたからである。』（マタイ 7:29）。

イエス様の新しい教えは、貧しく虐げられている人々に、大いなる希望と平安をもたらしました。ヘブル人の書き手はこう記しています。『こういうわけですから、兄弟たち。私たちは、イエスの血によって、大胆にまことの聖所にはいることができるのです。』（ヘブル 10:19）。

聖 歌 224

祈 り 親愛なる神様。あなたが私たちに約束された恵みに感謝します。私たちは祝福されています。

イエス様の御名において。アーメン。

コルデリア・ルッカー

オクラホマ州 ウッドワード

7月14日(土)

あなたの目を主から離さないで

聖書朗読 マタイ 14:22～36

イエスから目を離さないでいなさい。

ヘブル 12:2

ペテロと彼の11人の同志は疲れきっていました。その日は彼らの人生で最もびっくりするようなことが起こった日でした。イエス様が5つのパンと2匹の魚を何倍にもされて、大勢の人々に食べさせたのですから！

イエス様は弟子たちをご自分より先に船に乗せ、湖を渡らせました。夜明けの4時頃、船の中の弟子たちはひどい波に悩まされていました。すると突然、イエス様が彼らのところに湖の上を歩いてあらわれました。弟子たちは、イエス様の呼びかける声を聞くまでイエス様のことを幽霊にちがいないと思いました。イエス様は『しっかりしなさい！ わたしだ。恐れることはない。』と言われました。(マタイ 14:27)。

ペテロはイエス様から勇気を得て、船から出て大胆にイエス様のもとへ歩こうとしました。イエス様は「来なさい」と言われました。ペテロはイエス様の方へ湖の上を歩き出しました。うまくいっていましたが、イエス様から目を離したとたん、沈み始めました。大勢の群衆を食べさせたのと同じパワーによって水の上を歩いているのだということをペテロは忘れてしまったのです。自分自身の力で歩こうとした瞬間、恐怖にのまれ、彼は沈んでしまったのです。

あなたにも思い当たることはありませんか？

讃美歌 142

祈り 親愛なるお父様。邪悪や世界が私を惑わし、私たちの目が主から離れるとき、私たちの注目がイエス様に戻るように導いてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ジョー・ケイス

テキサス州 サラド

7月15日(日)

祈りの目的って何？

聖書朗読 マタイ 26:36～46

わたしは、あなたがたに言います。求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。だれであっても、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。

ルカ 11:9～10

私たちが欲しいものを手に入れるまで、求め続け、捜し続け、たたき続けなさい。私はこの聖句がそんなことを意味しているのだとは思いません。パウロは3回何かのために祈りましたが、その後で、彼の願いは神様のみこころではないと悟ったと言っています(Ⅱコリント 12:7～11)。実際に神様は『わたしの恵みは、あなたに十分である。』とパウロに話されています(Ⅱコリント 12:9)。そしてパウロはそれを理解したのです。

祈りの目的とはいったい何でしょうか？ それは人間の意思を天国で行なわせるためのものでしょうか？ それともむしろ神様の意思が地上で行なわれるためのものでしょうか？ ダビデ王は、問題を抱えた時祈りました。『私の目を開いてください。私が、あなたのみおしえのうちにある奇しいことに目を留めるようにしてください。』(詩篇 119:18)。イエス様は十字架にかかれる前、『わたしの願うことではなく、みこころのままを、なさってください。』と祈られました(マルコ 14:36)。

今週は、あなたがこれこそ神のみこころだと信じることをもとに、自分のことに対してどうするか決めなさい。あなた自身がどうしたいかではなく、そうすればあなたがいかに豊かに祝福されていることが驚かされるでしょう。あなたの主のみこころを欲する心があなたのお金や時間の使い方に変化を与えます。あなたの心も確実に変化するでしょう。主からの恵みを受けるとは、何とすばらしいことでしょう！

聖歌 296

祈り お父様。イエス様を通じ、イエス様がなさったように、私たちも祈るということを学ぶことができますように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ウィリアム・E・“ビル”・マクドナー
オレゴン州 フィロマス